

## 運用報告書 (全体版)

### 世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。
運用方針	<p>外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月1回の分配実施<sup>※</sup>による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。</p> <p>※実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。</p>
主要投資対象	<p>「One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド (以下、「バランス・ファンド」といいます。)」円建受益証券と「D I AMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券(リート)の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。</p> <p>基準価額の変動リスクを年率4%程度<sup>※</sup>に抑えながら、中長期的に安定的な運用をめざします。</p> <p>※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。</p> <p>また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。</p> <p>各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>1万円当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。</p>
組入制限	<p>投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>デリバティブ取引の直接利用は行いません。</p> <p>外貨建資産への直接投資は行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時(原則として毎月11日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の記当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p> <p>※第1期(2020年5月11日)の決算は収益分配を行いません。</p>

愛称：しあわせのしずく

第1期 <決算日 2020年5月11日>  
 第2期 <決算日 2020年6月11日>  
 第3期 <決算日 2020年7月13日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)」は、2020年7月13日に第3期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## 世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）

### ■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			投資組 入比率	信託受 益証券 比率	純資産 総額
			税 分 配	込 み 金	騰 落 率			
第1作成期	(設定日) 2020年3月27日	円 10,000	円 -		% -	% -	百万円 2,000	
	1期(2020年5月11日)	10,100	0		1.0	89.2	2,092	
	2期(2020年6月11日)	10,224	35		1.6	92.3	2,193	
	3期(2020年7月13日)	10,247	35		0.6	92.9	2,505	

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

### ■当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額	騰落率		投資組 入比率	信託受 益証券 比率
			騰	落		
第1期	(設定日) 2020年3月27日	円 10,000		% -	% -	
	3月末	10,033		0.3	95.0	
	4月末	10,128		1.3	92.4	
	(期末) 2020年5月11日	10,100		1.0	89.2	
第2期	(期首) 2020年5月11日	10,100		-	89.2	
	5月末	10,209		1.1	93.8	
	(期末) 2020年6月11日	10,259		1.6	92.3	
第3期	(期首) 2020年6月11日	10,224		-	92.3	
	6月末	10,258		0.3	93.9	
	(期末) 2020年7月13日	10,282		0.6	92.9	

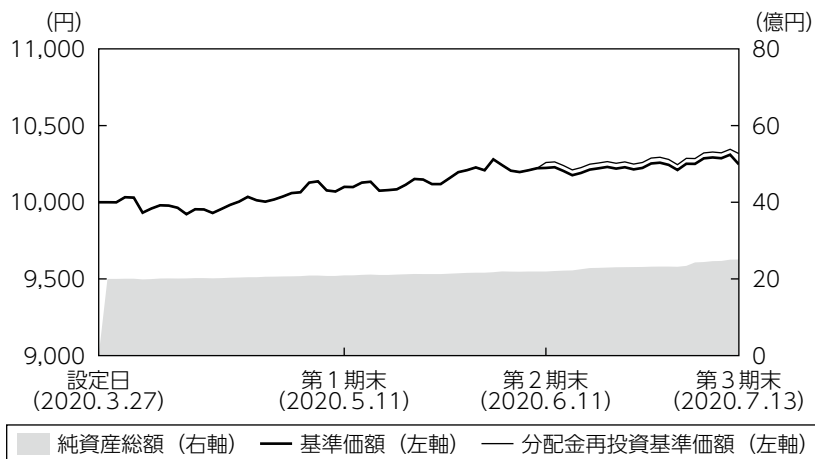
(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第1期は設定日比）です。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第1期～第3期の運用経過（2020年3月27日から2020年7月13日まで）

### 基準価額等の推移



設定日：10,000円  
 第3期末：10,247円  
 (既払分配金70円)  
 騰落率：3.2%  
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う先行き不透明感があったものの、世界的な経済活動再開期待等を受け、株式市場は上昇しました。株式等のリスク性資産がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。また、債券等の安定資産についても、プラスに寄与しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	3.6%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

(注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う先行き不透明感があったものの、世界的な経済活動再開期待等を受け、上昇しました。債券市場は、経済対策による需給悪化懸念から利回りが上昇（価格が下落）する場面もありましたが、期を通じて見ると利回りは低下（価格が上昇）しました。

為替市場では、作成期末時点で、円は対米ドルで設定日と同水準となり、対ユーロでは円安となりました。対米ドルでは、設定日以降比較的安定した値動きとなりました。対ユーロでは、2020年5月上旬にかけて円高が進行したものの、作成期末にかけて円安となり、作成期末時点では設定日と比べ円安となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りに低下圧力がかかっていることが要因となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

#### 【基本配分戦略（月次）】

8つの資産および為替ヘッジに関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ60～80%程度、リスク性資産へ15～30%程度配分しました。

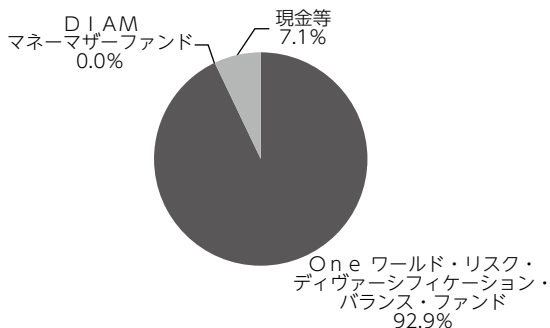
#### 【機動的配分戦略（日次）】

安定資産の下落するリスクが高まったと判断した設定日から4月下旬等において、現金等の配分を高めました。また、リスク性資産が下落するリスクが高まったと判断した設定日から4月上旬にかけて、リスク性資産の配分を減らしました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

## ポートフォリオ構成（2020年7月13日現在） ※比率は純資産総額に対する割合です。



## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、第1期は無分配、第2期～第3期は以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第1期	第2期	第3期
	2020年3月27日 ～2020年5月11日	2020年5月12日 ～2020年6月11日	2020年6月12日 ～2020年7月13日
当期分配金（税引前）	-円	35円	35円
対基準価額比率	-%	0.34%	0.34%
当期の収益	-円	35円	35円
当期の収益以外	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	268円	279円	286円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

### ●D I AMマネーマザーファンド

日銀は新型コロナウイルス対策もあり緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第3期 (2020年3月27日 ～2020年7月13日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	19円	
(投信会社)	( 7)	(0.069)	
(販売会社)	(11)	(0.108)	
(受託会社)	( 1)	(0.010)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	19	0.187	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

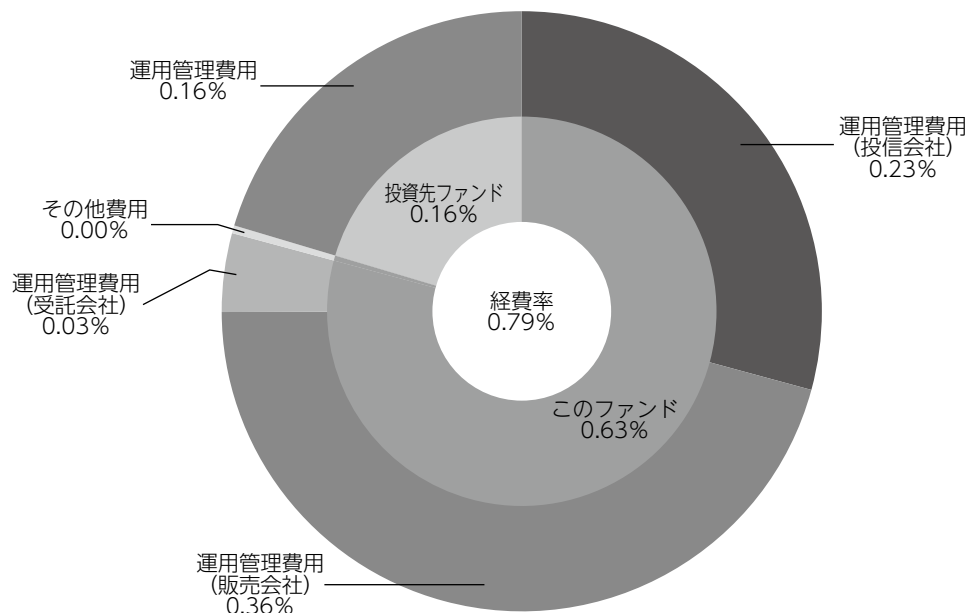
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.79%です。



経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②）	0.79%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.16%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2020年3月27日から2020年7月13日まで）  
投資信託受益証券

		第 1 期 ~ 第 3 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	One ワールド・リスク・ディヴァー シフィケーション・バランス・ファンド	千口 233.811	千円 2,334,000	千口 -	千円 -

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2020年3月27日から2020年7月13日まで）

		第 1 期 ~ 第 3 期			
		設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
	D I A Mマネーマザーファンド	千口 99	千円 100	千口 -	千円 -

■**利害関係人との取引状況等**（2020年3月27日から2020年7月13日まで）

【世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【D I A Mマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 1 期 ~ 第 3 期						
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D		D/C
		百万円	%			百万円	百万円	
公 社 債	百万円 304	百万円 203	% 66.7		百万円 -	百万円 -	% -	

平均保有割合 0.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。



## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 2,000	百万円 -	百万円 -	百万円 2,000	当初設定時又は当初運用時における取得

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 1 作 成 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	千□ 233.811	千円 2,327,822	% 92.9
合 計	233.811	2,327,822	92.9

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 1 作 成 期 末	
	□ 数	評 価 額
D I A M マネーマザーファンド	千□ 99	千円 99

## ■投資信託財産の構成

2020年7月13日現在

項 目	第 1 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,327,822	% 92.5
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	99	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	187,597	7.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,515,519	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月11日)、 (2020年6月11日)、 (2020年7月13日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>2,093,714,625円</b>	<b>2,204,920,557円</b>	<b>2,515,519,779円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	171,384,634	179,133,325	187,597,502
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	1,865,230,000	2,025,687,261	2,327,822,316
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド(評価額)	99,991	99,971	99,961
未 収 配 当 金	57,000,000	—	—
<b>(B) 負 債</b>	<b>1,584,964</b>	<b>11,182,589</b>	<b>9,849,644</b>
未 払 収 益 分 配 金	—	7,509,902	8,558,154
未 払 解 約 金	—	2,526,454	7,172
未 払 信 託 報 酬	1,577,483	1,140,828	1,278,255
そ の 他 未 払 費 用	7,481	5,405	6,063
<b>(C) 純 資 産 総 額(A - B)</b>	<b>2,092,129,661</b>	<b>2,193,737,968</b>	<b>2,505,670,135</b>
元 本	2,071,484,230	2,145,686,509	2,445,186,889
次 期 繰 越 損 益 金	20,645,431	48,051,459	60,483,246
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>2,071,484,230口</b>	<b>2,145,686,509口</b>	<b>2,445,186,889口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	10,100円	10,224円	10,247円

(注) 設定当初の投資元本額は2,000,000,000円、当作成期間(第1期~第3期)中における追加設定元本額は448,810,990円、同解約元本額は3,624,101円です。

## ■損益の状況

〔自 2020年 3月27日〕〔自 2020年 5月12日〕〔自 2020年 6月12日〕  
 至 2020年 5月11日 至 2020年 6月11日 至 2020年 7月13日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期
(A) 配 当 等 収 益	56,992,236円	10,173,782円	10,920,338円
受 取 配 当 金	57,000,000	10,182,147	10,927,421
受 取 利 息	1	-	-
支 払 利 息	△7,765	△8,365	△7,083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△34,765,846	24,440,484	4,135,079
売 買 益	4,026	24,457,260	4,135,101
売 買 損	△34,769,872	△16,776	△22
(C) 信 託 報 酬 等	△1,584,964	△1,146,233	△1,284,318
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	20,641,426	33,468,033	13,771,099
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	-	20,616,669	46,574,454
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,005	1,476,659	8,695,847
(配 当 等 相 当 額)	(241,451)	(2,308,736)	(10,986,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△237,446)	(△832,077)	(△2,290,253)
(G) 合 計(D + E + F)	20,645,431	55,561,361	69,041,400
(H) 収 益 分 配 金	-	△7,509,902	△8,558,154
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	20,645,431	48,051,459	60,483,246
追 加 信 託 差 損 益 金	4,005	1,476,659	8,695,847
(配 当 等 相 当 額)	(241,451)	(2,308,736)	(10,986,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△237,446)	(△832,077)	(△2,290,253)
分 配 準 備 積 立 金	55,407,284	57,667,863	59,098,144
繰 越 損 益 金	△34,765,858	△11,093,063	△7,310,745

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 分配金の計算過程

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期
(a) 経費控除後の配当等収益	55,407,284円	9,836,935円	9,988,863円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	241,451	2,308,736	10,986,100
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	55,340,830	57,667,435
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	55,648,735	67,486,501	78,642,398
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	268.64	314.52	321.62
(g) 分 配 金	0	7,509,902	8,558,154
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	0	35	35

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第 1 期	第 2 期	第 3 期
1 万口当たり分配金	-円	35円	35円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

## <補足情報>

### ■One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの内容

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドは、世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）の決算日時点でアニュアルレポートが発行されていないため、費用の内訳等のデータはございません。

以下は、世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）が投資を行っているOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの現地2020年7月13日現在のスワップの契約状況です。

### 損益を通じて公正価値で測定する金融資産

	(単位：日本円)	
	取得原価	公正価値
トータル・リターン・スワップ契約	2,330,336,600	2,367,927,800
	2,330,336,600	2,367,927,800

(注1) 評価額の表示単位未満は四捨五入しています。

(注2) 管理事務代行会社兼保管銀行であるブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニーのデータをもとに、アセットマネジメントOneが作成したものです。

(注3) 上記明細は、世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）が投資対象とするOne ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド全体の内容です。

# DIAMマネーマザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2020年4月6日）

（計算期間 2019年4月6日～2020年4月6日）

DIAMマネーマザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	百万円 3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,139

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

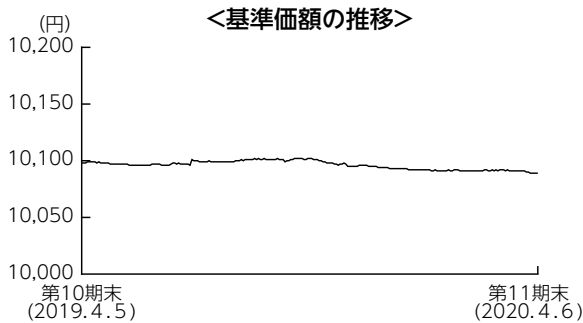
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	新 株 予 約 権 付 社 債 ( 転 換 社 債 ) 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率			
(期 首) 2019年 4 月 5 日	10,098	% -	% 79.4	% -	% -
4 月 末	10,097	△0.0	79.4	-	-
5 月 末	10,096	△0.0	79.4	-	-
6 月 末	10,097	△0.0	78.0	-	-
7 月 末	10,099	0.0	74.6	-	-
8 月 末	10,101	0.0	74.6	-	-
9 月 末	10,102	0.0	74.8	-	-
10 月 末	10,097	△0.0	73.9	-	-
11 月 末	10,094	△0.0	73.9	-	-
12 月 末	10,092	△0.1	73.3	-	-
2020年 1 月 末	10,092	△0.1	71.3	-	-
2 月 末	10,091	△0.1	69.9	-	-
3 月 末	10,089	△0.1	69.3	-	-
(期 末) 2020年 4 月 6 日	10,089	△0.1	69.3	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2019年4月6日から2020年4月6日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,089円となり、前期末比で0.09%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。が、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

### 投資環境

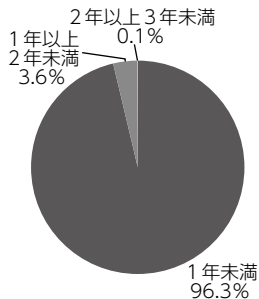
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になりました。

### ポートフォリオについて

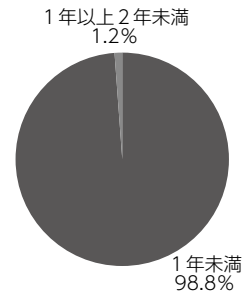
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

### ○残存年限別構成比 期首（前期末）



### 当期末



### 今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保をめざします。市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。



## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2019年4月6日から2020年4月6日まで)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円 国債証券	千円 11,723,868 (500,000)
		地方債証券	— (107,360)
		特殊債証券	— (21,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2019年4月6日から2020年4月6日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建) 公社債

区 分	当 期				未		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 700,000	千円 700,395	% 61.5	% —	% —	% —	% 61.5
地方債証券	43,470	43,649	3.8	3.8	—	—	3.8
特殊債証券	45,000	45,270	4.0	—	—	—	4.0
合 計	788,470	789,314	69.3	3.8	—	—	69.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、BB格以下に含めて表示しています。

## (B) 個別銘柄開示

## 国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(国債証券)</b>	%	千円	千円	
388回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,025	2020/05/15
389回 利付国庫債券（2年）	0.1000	300,000	300,108	2020/06/01
391回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,162	2020/08/01
392回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,100	2020/09/01
小 計	—	700,000	700,395	—
<b>(地方債証券)</b>	%	千円	千円	
27年度2回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,672	2020/05/25
27年度 京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,794	2020/09/02
474回 名古屋市公募公債 10年	1.3100	15,000	15,181	2021/03/19
小 計	—	43,470	43,649	—
<b>(特殊債券)</b>	%	千円	千円	
112回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,108	2020/07/31
117回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,030	2020/09/30
133回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,070	2021/04/30
137回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,060	2021/06/30
小 計	—	45,000	45,270	—
合 計	—	788,470	789,314	—

## ■投資信託財産の構成

2020年4月6日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%	千円	%
	789,314	69.3		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	350,454	30.7		
投 資 信 託 財 産 総 額	1,139,769	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年4月6日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,139,769,563円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	350,041,819
公 社 債(評価額)	789,314,782
未 収 利 息	319,264
前 払 費 用	93,698
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,139,769,563
元 本	1,129,674,818
次 期 繰 越 損 益 金	10,094,745
(D) 受 益 権 総 口 数	1,129,674,818口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,089円

(注1) 期首元本額 16,010,803,187円  
追加設定元本額 44,692,321円  
一部解約元本額 14,925,820,690円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源国通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
マシューズ・アジア株式ファンド	59,376,493円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	54,500,083円
期末元本合計	1,129,674,818円

## ■損益の状況

当期 自2019年4月6日 至2020年4月6日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,879,508円
受 取 利 息	5,642,396
支 払 利 息	△762,888
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△8,301,781
売 買 益	43,245
売 買 損	△8,345,026
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△3,422,273
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(E) 解 約 差 損 益 金	△143,271,020
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	407,679
(G) 合 計(C+D+E+F)	10,094,745
次 期 繰 越 損 益 金(G)	10,094,745

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。